人材育成・確保

大分県　日田市（造林・保育の担い手の確保・育成）

- 日田市では、スギ・ヒノキの多くが利用期を迎え、主伐が増加傾向にあり、伐採後の再造林を確実に実施する必要があるが、植栽や下刈り等に従事する造林・保育の担い手の確保・育成が課題となっている。
- このため、市内の林業･木材関係者が協力して「ひた森の担い手づくり協議会」を設立し、当協議会が行う造林・保育の担い手の確保・育成等の取組に対し、支援を行う。

□　事業内容

〇山仕事就業促進事業

造林・保育の担い手の確保・育成のため、募集から現地体験、就業マッチングまでをパッケージにした募集活動や森林経営マネジメント等の学びの場として講演会を開催し、意欲ある就業・起業希望者の確保に向けて「ひた森の担い手づくり協議会」が行う取組に、5割～10割の補助を行う。

【事　業　費】10,094,876円（全額譲与税）
【実　　績】・中核研修(12ヶ月)　2人　・トライアル研修(3ヵ月)　2人
・勉強会（全4回）　23人　･講演会(全4回)　　延べ259人

□　取組の背景

・伐期を迎えた森林の伐採が進む中、機械化が進まない造林・保育の担い手が減少している。
・今後、確実な再造林を推進するため、原木市場協同組合が中心となり、市内関係団体とともに、造林・保育の担い手の確保・育成に向けた事業に取り組む。



（講演会の様子）



（勉強会：地拵え･植付体験）

□　工夫・留意した点

・通常の求人では充足困難な林業の新規就業者確保のため、募集活動にSNS等を活用したこと、林業界の著名人による講演会を開催することで、広範囲に対象者の募集を行った。
・林業に興味や関心のある方を対象とした講演会、林業の基礎研修等を行う全4回の勉強会、試行的に学習する3か月間のトライアル研修、本格的に学習する12か月から36か月間の中核研修を準備し、参加者の実情に応じて学べる機会の創出を行った。
・関係団体と定期的に会議を行いながら、伴走型の支援として、事業の推進を図った。

□　取組の効果

・令和5年8月に協議会を設立して以降、本事業を通して、市内の林業事業体への就業や移住者による起業など5名の担い手の確保・育成につながった。
・林業について学べる機会を創出することで、新たな担い手の確保が期待される。

◇　基礎データ

①令和７年度譲与額：331,213千円	②私有林人工林面積（※１）：36,703ha	
③林野率（※１）：82.6%	④人口（※２）：62,657人	⑤林業就業者数（※２）：515人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より